



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

上場会社名 日本システムウエア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9739 URL <https://www.nsw.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 多田 尚二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員常務 (氏名) 須賀 譲 (TEL) 03-3770-1111
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	27,183	8.4	2,735	19.4	2,763	18.4	1,892	20.7
2019年3月期第3四半期	25,075	7.4	2,290	16.4	2,333	17.1	1,567	15.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,889百万円(20.7%) 2019年3月期第3四半期 1,565百万円(15.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	127.02	—
2019年3月期第3四半期	105.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	28,127	20,601	73.2
2019年3月期	28,211	19,196	68.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 20,601百万円 2019年3月期 19,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	12.50	—	17.50	30.00
2020年3月期	—	15.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	5.2	3,500	4.3	3,540	3.9	2,400	5.0	161.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	14,900,000株	2019年3月期	14,900,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	395株	2019年3月期	352株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	14,899,614株	2019年3月期3Q	14,899,674株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調を維持しつつも、輸出や生産の一部に米中の貿易摩擦の影響がみられるなど、海外経済の不確実性により製造業を中心に先行き不透明感が増しております。

情報サービス産業界におきましては、企業のIT投資は堅調に推移しており、IoT、AI、5Gなどのデジタル技術を活用し、ビジネスプロセスや業務プロセスを柔軟に変えていくデジタルトランスフォーメーション（DX、デジタル変革）や働き方改革などへの取り組みが本格化しております。

このような状況の下、当社グループは、当連結会計年度より新たな中期経営計画（2019年4月～2022年3月）をスタートしました。「DX FIRST」をスローガンに、長年培ってきた業務ノウハウや技術力とさまざまな実現手段を組み合わせることによって、お客様のビジネスモデル変革と業務プロセス改革に貢献し、お客様のDX実現を先導する企業として事業成長を加速してまいります。今後は、これまで取り組んできたIoT・AIサービスを基にした事業の拡大を図るとともに、現在の収益基盤をより確固たるものにするため、受託型から提案型へ、開発からソリューション、サービスへ軸足を移したビジネスを展開してまいります。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は262億44百万円（前年同四半期比6.5%増）、売上高は271億83百万円（同8.4%増）、営業利益は27億35百万円（同19.4%増）、経常利益は27億63百万円（同18.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億92百万円（同20.7%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の報告セグメント別の概況は、次のとおりであります。
なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、前第3四半期連結累計期間との比較は変更後の区分に基づいております。

<ITソリューション>

売上高につきましては、小売業向けシステム機器販売、官公庁・団体向けインフラ構築案件などが伸長し増収となりました。利益につきましては、不採算案件の発生による原価増はあるものの、増収に伴う利益増や一部大型案件の収益性改善などにより増益となりました。これらの結果、受注高は91億90百万円（前年同四半期比12.0%増）、売上高は92億17百万円（同16.3%増）、営業利益は8億91百万円（同34.5%増）となりました。

<サービスソリューション>

売上高につきましては、クラウド・インフラサービスやWeb・EC関連サービスの拡大により増収となりました。利益につきましては、増収に伴う利益増に加え、クラウド・インフラサービスやIoT関連サービスの収益性改善により増益となりました。これらの結果、受注高は62億20百万円（前年同四半期比11.5%増）、売上高は70億25百万円（同8.3%増）、営業利益は3億97百万円（同140.9%増）となりました。

<プロダクトソリューション>

売上高につきましては、組込み開発における設備・通信機器分野やデバイス開発の拡大により増収となりました。利益につきましては、組込み開発におけるオートモーティブ・モバイル分野の業務領域の転換を進めていることにより減益となりました。これらの結果、受注高は108億33百万円（前年同四半期比0.2%減）、売上高は109億40百万円（同2.6%増）、営業利益は14億46百万円（同1.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、281億27百万円となり、前連結会計年度末比83百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の増加(15億41百万円)、仕掛品の増加(9億13百万円)及びその他流動資産に含まれる前払費用の増加(2億95百万円)があったものの、受取手形及び売掛金の減少(24億16百万円)、繰延税金資産の減少(2億66百万円)、建物及び構築物の減少(1億58百万円)があったことによるものであります。

総負債は、75億26百万円となり、前連結会計年度末比14億88百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等の減少(8億90百万円)、賞与引当金の減少(8億52百万円)があったことによるものであります。

純資産は、206億1百万円となり、前連結会計年度末比14億4百万円の増加となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、配当金の支払などの支出を営業活動によるキャッシュ・フローで賄い、前連結会計年度末と比べ15億41百万円増加し、99億43百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の活動別概況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、22億36百万円(前年同四半期比7億81百万円の収入の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益27億60百万円に対し売上債権の減少額25億48百万円、たな卸資産の増加額10億11百万円及び賞与引当金の減少額8億52百万円があったことに加え、法人税等の支払額14億40百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億6百万円(前年同四半期比1億50百万円の支出の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出93百万円、敷金及び保証金の差入による支出28百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、4億82百万円(前年同四半期比73百万円の支出の増加)となりました。これは主に、配当金の支払額4億77百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月13日に発表しました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,410	9,951
受取手形及び売掛金	9,409	6,993
電子記録債権	239	111
商品	349	449
仕掛品	748	1,661
貯蔵品	3	1
その他	234	563
流動資産合計	19,395	19,733
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,226	2,067
工具、器具及び備品（純額）	305	287
土地	3,861	3,861
その他（純額）	14	12
有形固定資産合計	6,407	6,228
無形固定資産		
ソフトウェア	104	85
その他	31	30
無形固定資産合計	135	116
投資その他の資産		
投資有価証券	30	33
繰延税金資産	1,203	936
その他	1,051	1,092
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	2,273	2,049
固定資産合計	8,816	8,394
資産合計	28,211	28,127

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,412	2,265
未払法人税等	951	61
未払消費税等	395	397
賞与引当金	1,268	416
工事損失引当金	—	62
製品保証引当金	19	—
その他	1,731	2,000
流動負債合計	6,779	5,203
固定負債		
役員退職慰労引当金	2	2
退職給付に係る負債	2,178	2,264
その他	55	57
固定負債合計	2,235	2,323
負債合計	9,015	7,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	86	86
利益剰余金	13,602	15,010
自己株式	△0	△0
株主資本合計	19,188	20,596
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	5
為替換算調整勘定	12	6
退職給付に係る調整累計額	△7	△6
その他の包括利益累計額合計	7	4
純資産合計	19,196	20,601
負債純資産合計	28,211	28,127

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	25,075	27,183
売上原価	20,423	21,904
売上総利益	4,652	5,279
販売費及び一般管理費		
役員報酬	95	104
執行役員報酬	124	114
給料及び賞与	1,023	1,100
退職給付費用	45	50
福利厚生費	201	210
通信交通費	128	138
業務委託費	117	151
賃借料	79	89
その他	546	583
販売費及び一般管理費合計	2,361	2,544
営業利益	2,290	2,735
営業外収益		
保険配当金	10	8
助成金収入	8	9
その他	25	15
営業外収益合計	43	33
営業外費用		
為替差損	—	2
保険解約損	—	1
その他	1	0
営業外費用合計	1	4
経常利益	2,333	2,763
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除却損	1	0
固定資産売却損	1	4
特別損失合計	2	4
税金等調整前四半期純利益	2,331	2,760
法人税、住民税及び事業税	521	602
過年度法人税等	11	—
法人税等調整額	229	265
法人税等合計	763	868
四半期純利益	1,567	1,892
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,567	1,892

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,567	1,892
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	1
為替換算調整勘定	△4	△6
退職給付に係る調整額	1	0
その他の包括利益合計	△2	△3
四半期包括利益	1,565	1,889
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,565	1,889

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,331	2,760
減価償却費	343	354
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△590	△852
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△1	62
製品保証引当金の増減額(△は減少)	—	△19
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	89	85
売上債権の増減額(△は増加)	1,839	2,548
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,250	△1,011
仕入債務の増減額(△は減少)	△52	△146
前受金の増減額(△は減少)	102	△27
その他	△397	△77
小計	2,411	3,676
法人税等の支払額	△956	△1,440
その他	0	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,454	2,236
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△157	△93
有形固定資産の売却による収入	0	15
敷金及び保証金の差入による支出	△35	△28
保険積立金の積立による支出	△16	△15
その他	△148	△86
投資活動によるキャッシュ・フロー	△357	△206
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△400	△477
その他	△8	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△408	△482
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	684	1,541
現金及び現金同等物の期首残高	6,593	8,402
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,278	9,943

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	IT ソリューション	サービス ソリューション	プロダクト ソリューション	
売上高				
外部顧客への売上高	8,697	5,379	10,998	25,075
セグメント間の内部売上高又は振替高	△769	1,106	△336	—
計	7,928	6,485	10,661	25,075
セグメント利益	662	164	1,463	2,290

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	IT ソリューション	サービス ソリューション	プロダクト ソリューション	
売上高				
外部顧客への売上高	10,216	5,768	11,198	27,183
セグメント間の内部売上高又は振替高	△998	1,256	△257	—
計	9,217	7,025	10,940	27,183
セグメント利益	891	397	1,446	2,735

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、新中期経営計画のスタートにあわせて事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「ITソリューション」「プロダクトソリューション」から、「ITソリューション」「サービスソリューション」「プロダクトソリューション」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。